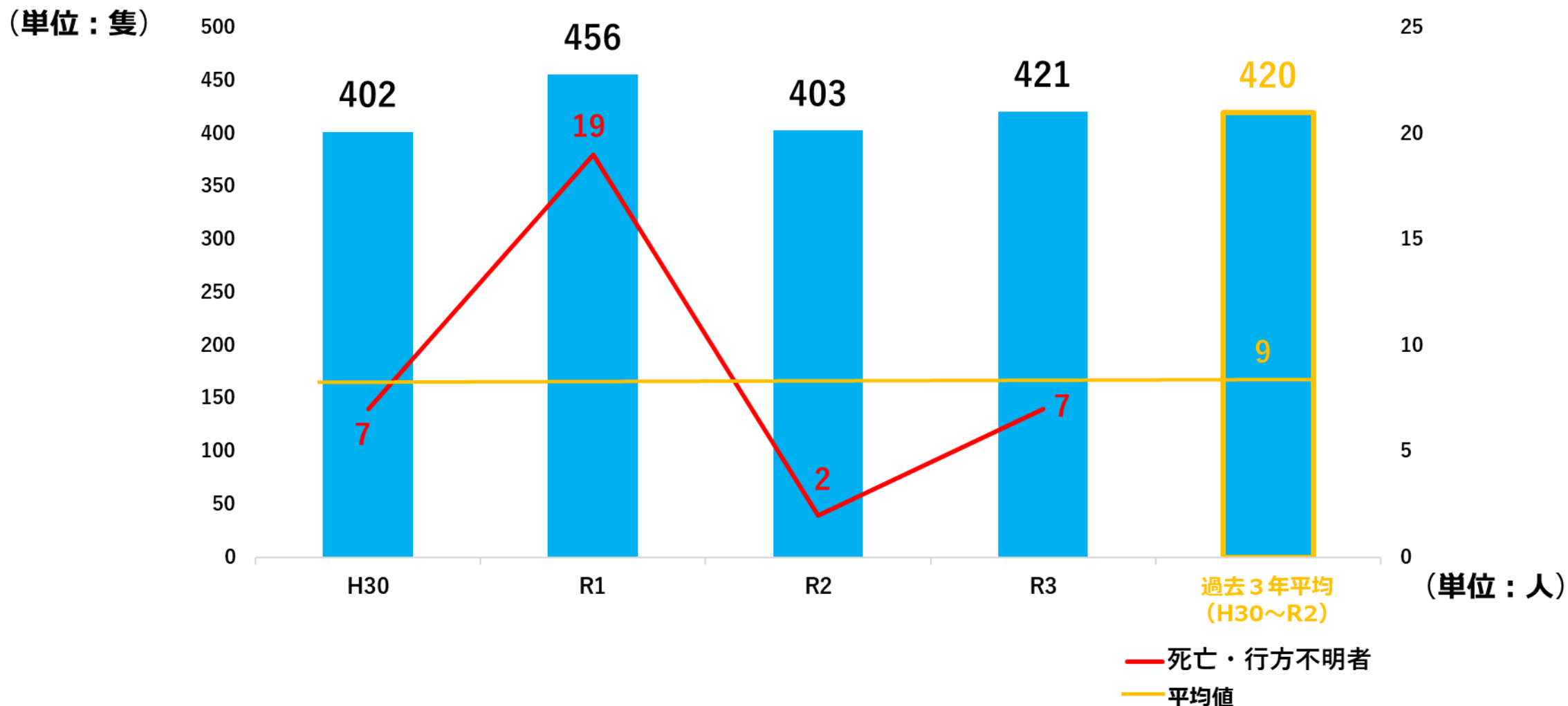


第三管区海上保安本部からの連絡事項

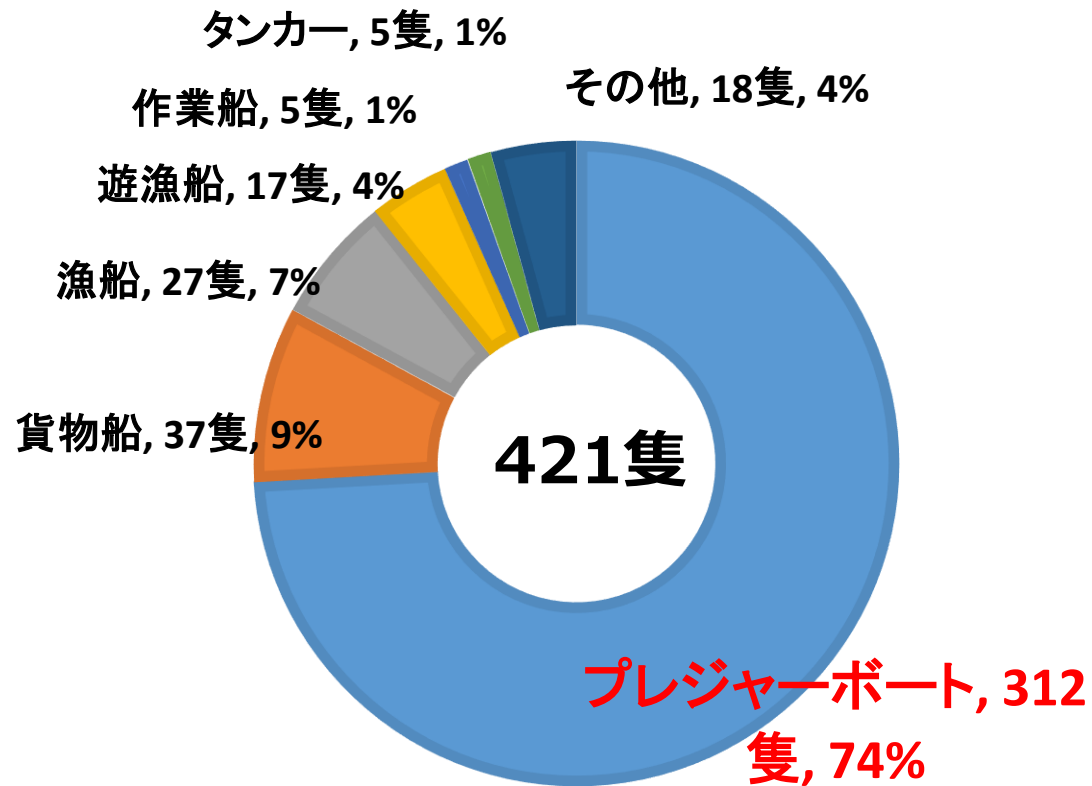
令和3年の海難発生状況（速報値）

第三管区海上保安本部
交通部 安全対策課

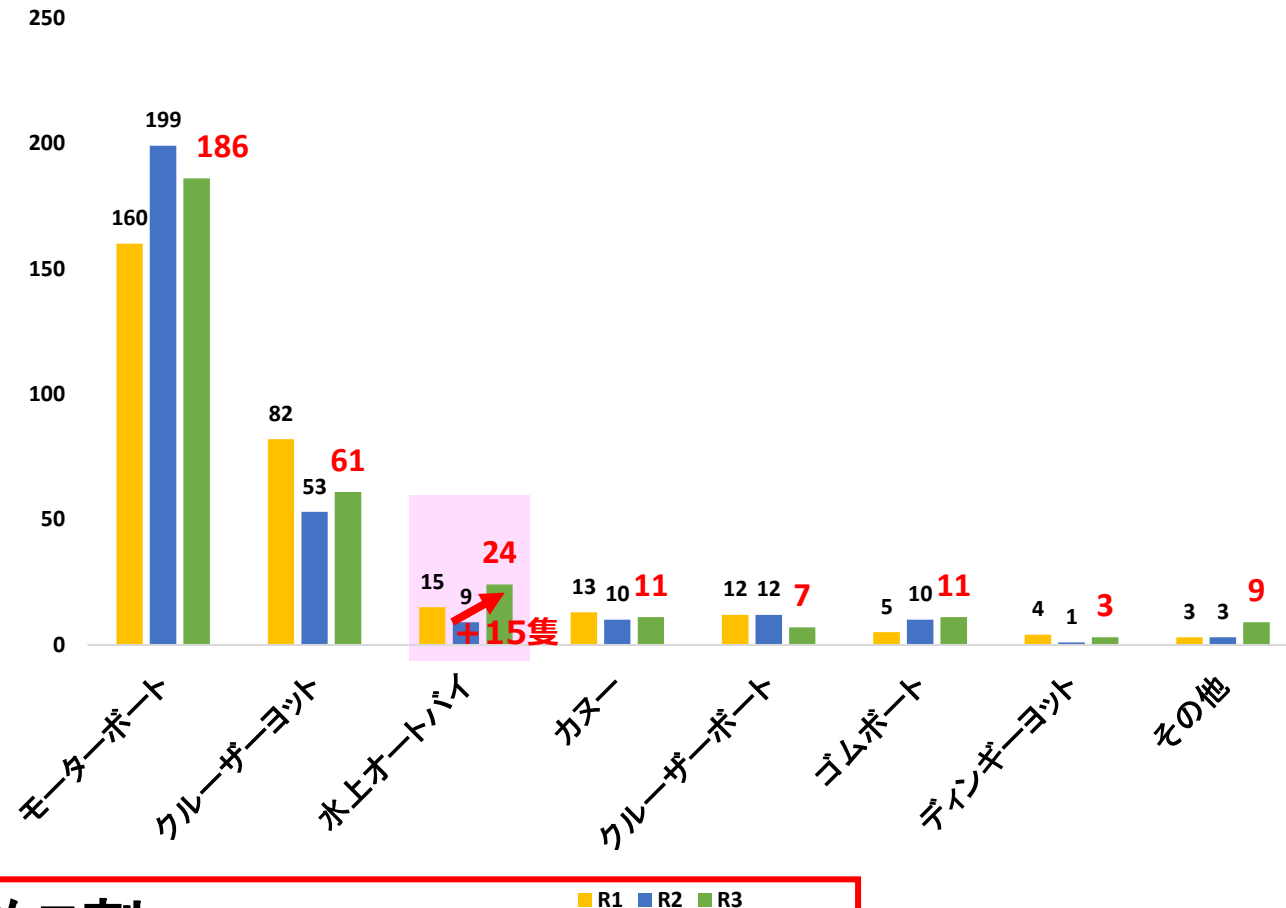


発生数は421隻、死亡・行方不明者は7人

船舶種類別 (R3)

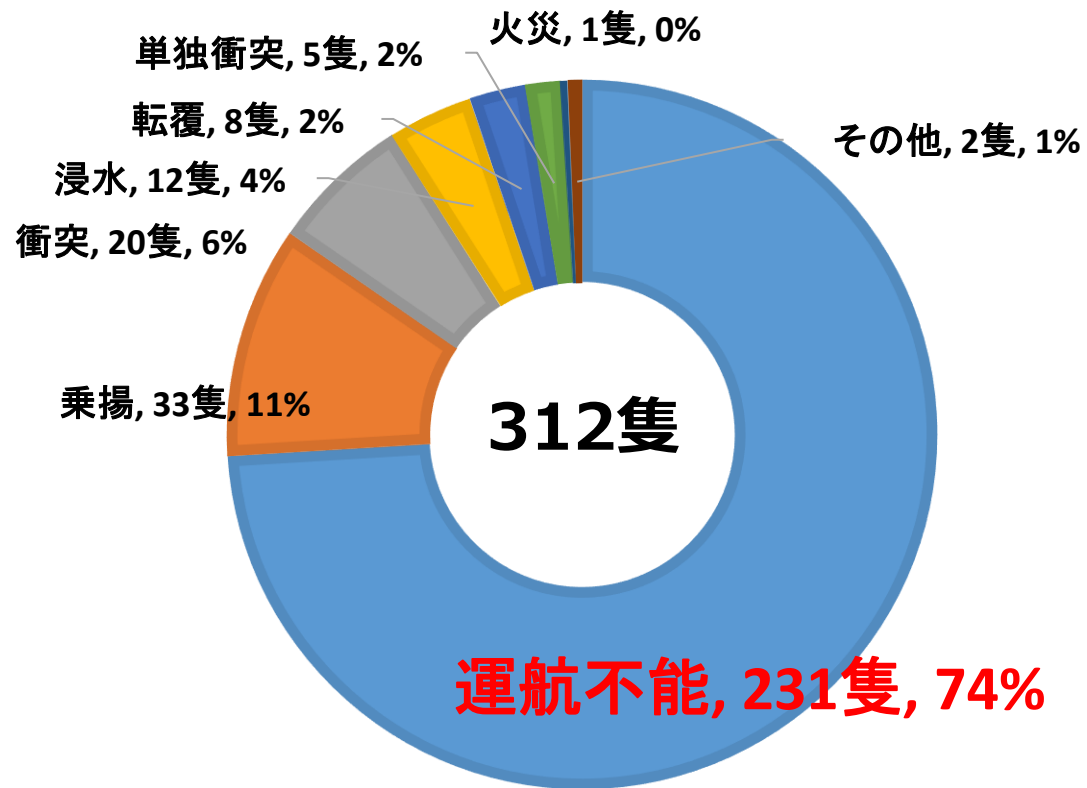


プレジャーボート種類別 (R3) 単位：隻



- ・プレジャーボートが約7割
- ・水上オートバイの海難増加
- ・水上オートバイ免許取得者の増加が要因か？

海難種類別 (R3)



運航不能種類別 (R3)

	R3
機関故障	131
燃料欠乏	13
バッテリー過放電	12
推進器障害	30
操船技能不足	9
その他	35

適切な点検整備をすれば防げた隻数

156隻

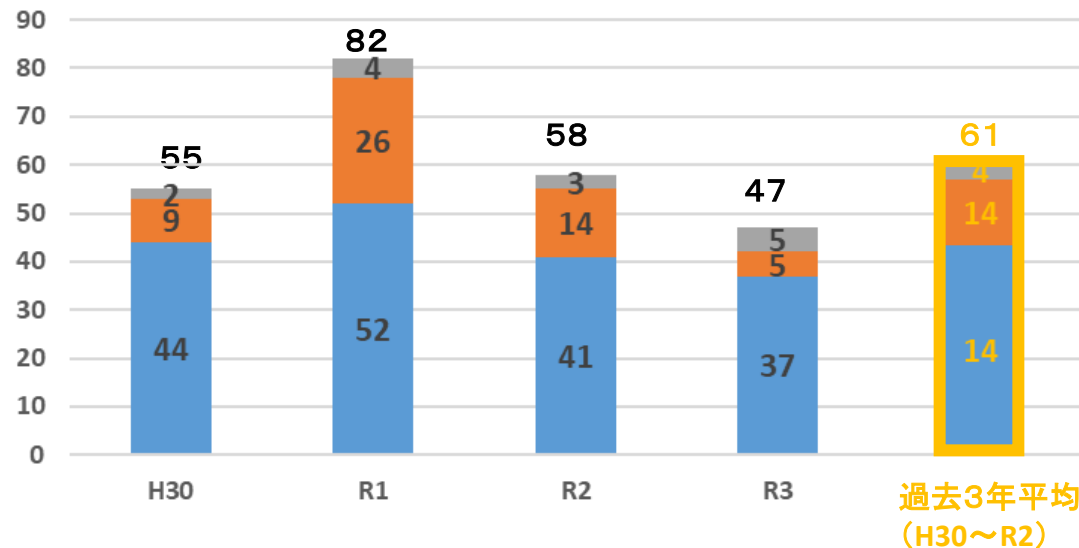
↑
プレジャーボート海難の半数

適切な点検整備で多くの海難が防げた

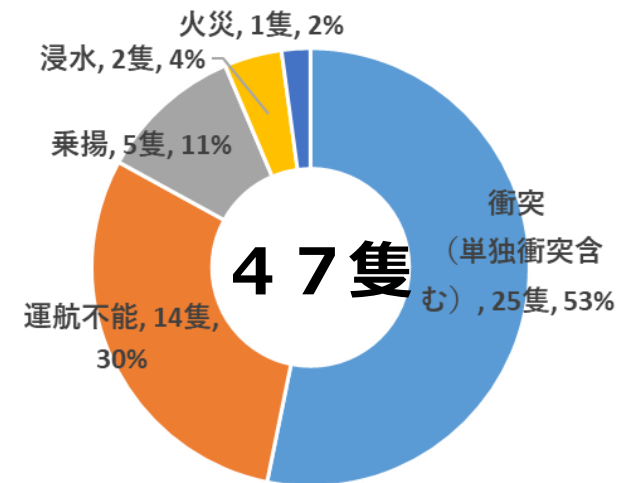
船舶種類別

単位：隻

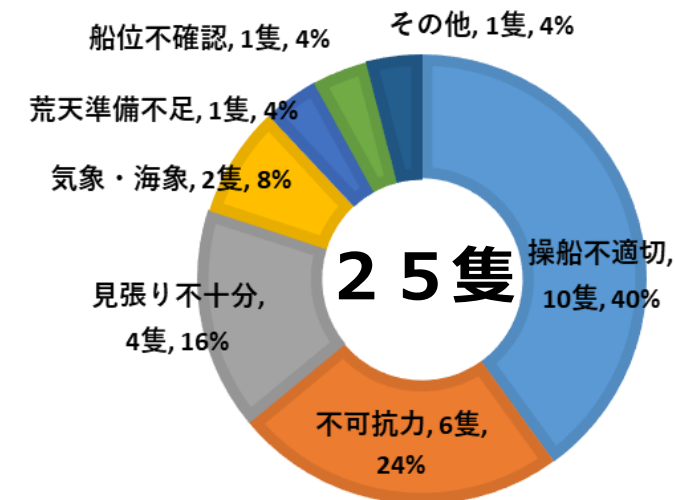
■ 貨物船 ■ タンカー ■ 作業船



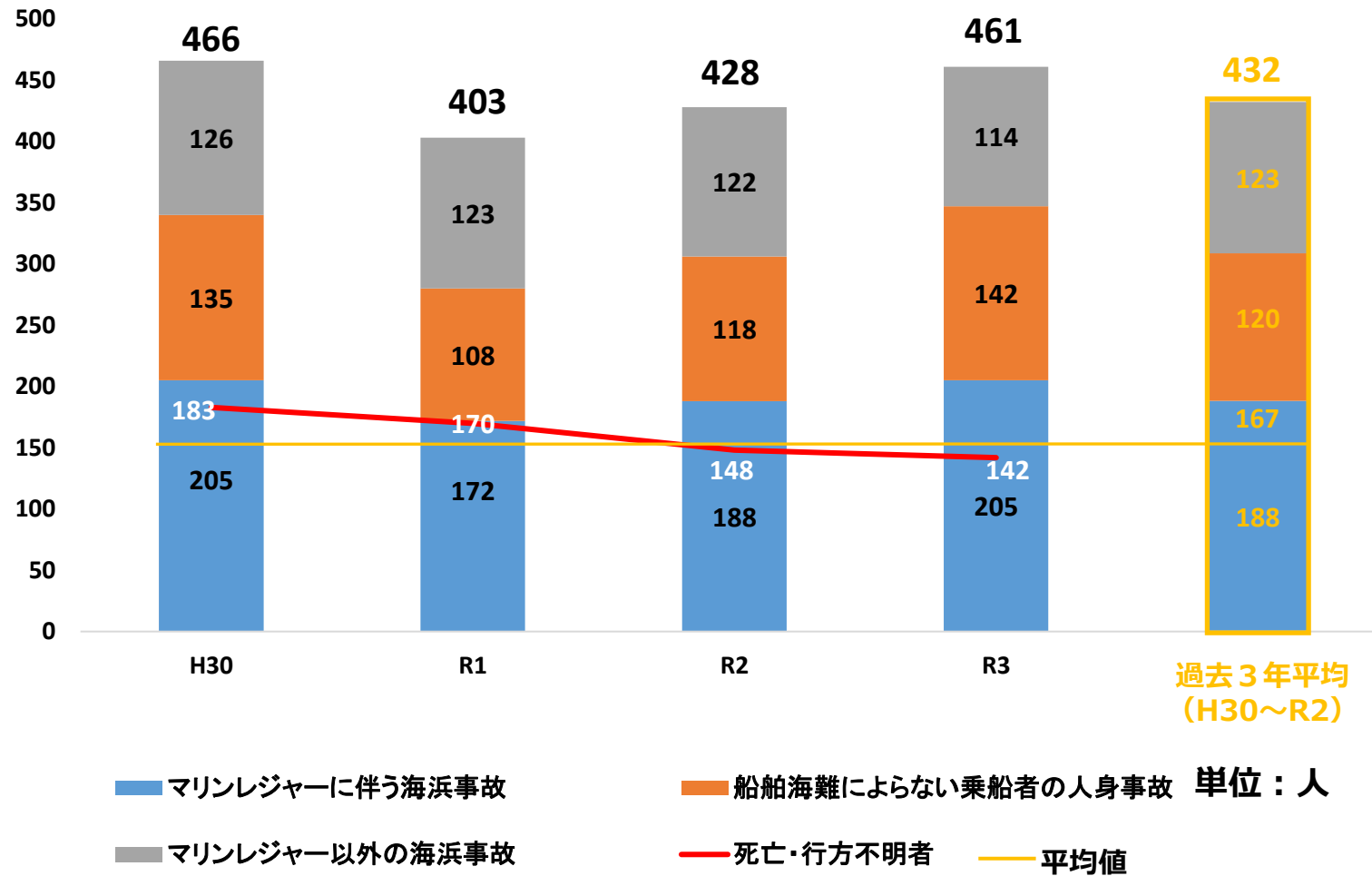
海難種類別 (R3)



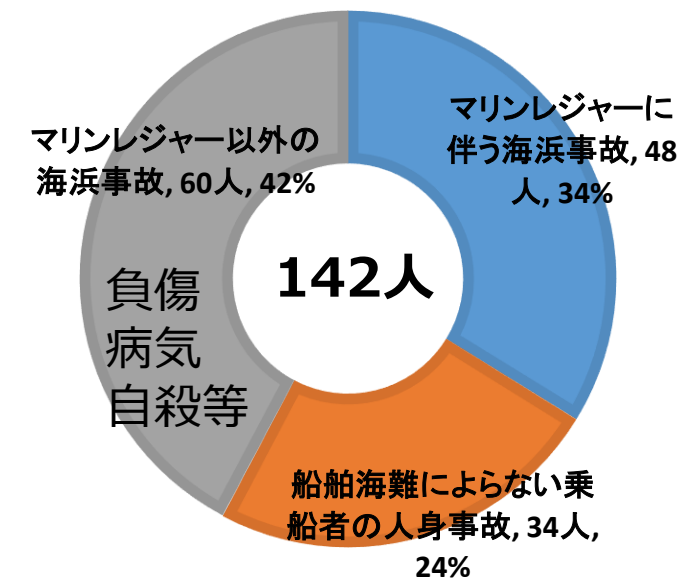
衝突原因内訳 (R3)



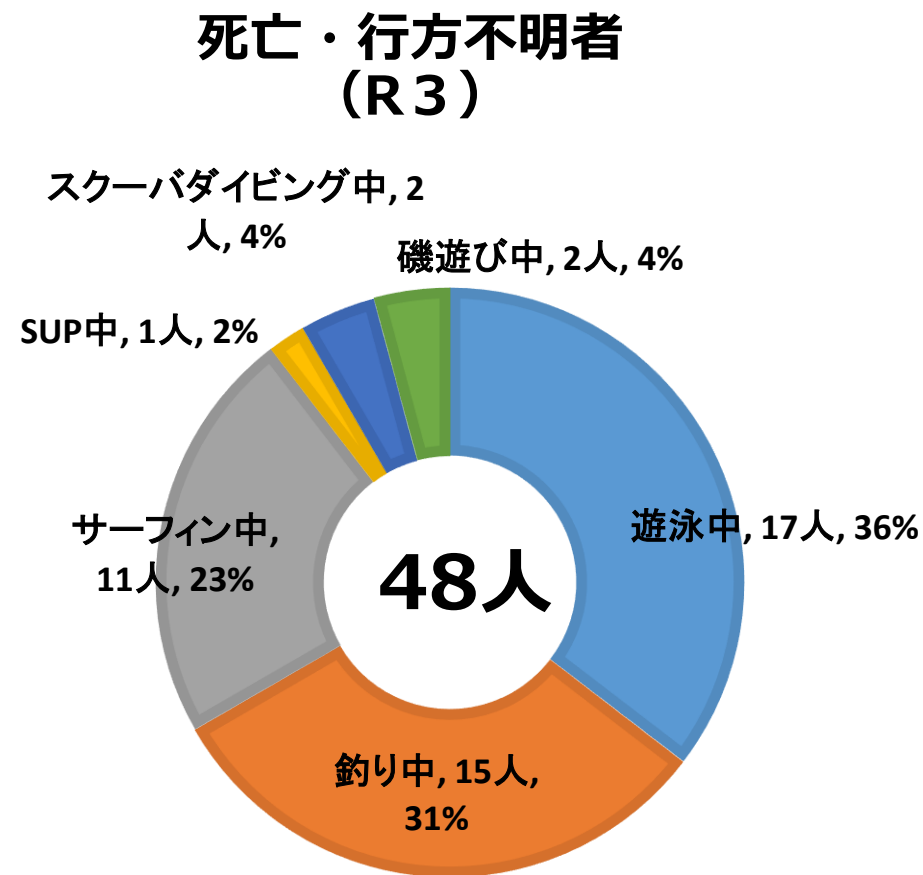
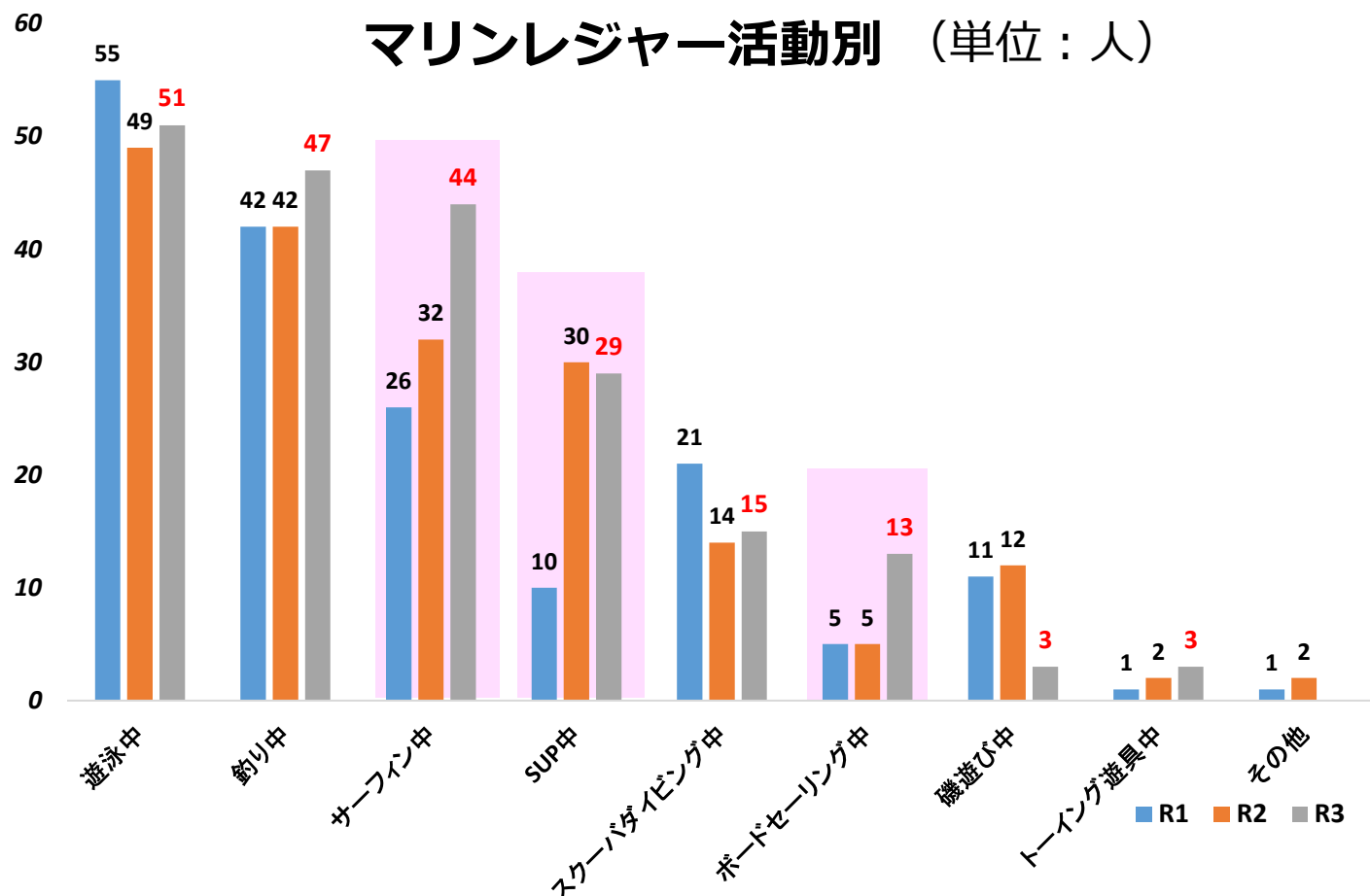
- ・風浪の影響を受け岸壁や他船に衝突した事案が28%
- ・運航不能の85%は機関故障。多くは経年劣化による老朽衰耗



死亡・行方不明者区分別 (R3)



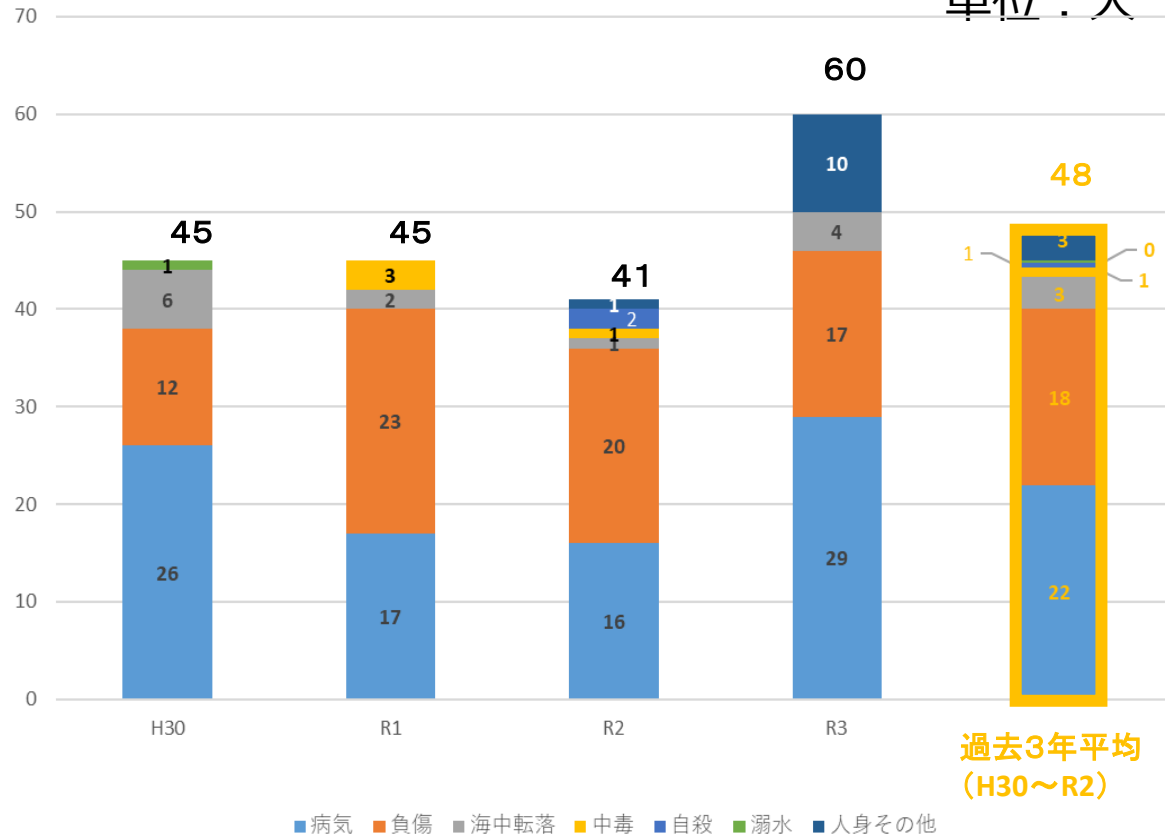
・発生数は461人、死亡・行方不明者は142人
 ・死亡・行方不明者は、H13以降最少



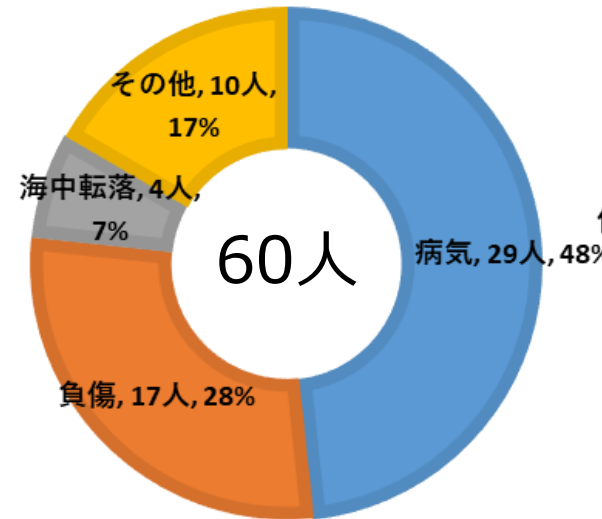
- ・サーフィン、SUP、ボードセーリングが過去3年間で増加
- ・40歳代～50歳代のサーフィン事故者が57%
- ・サーフィン中の死亡・行方不明者が初めて二桁台に

事故内容別

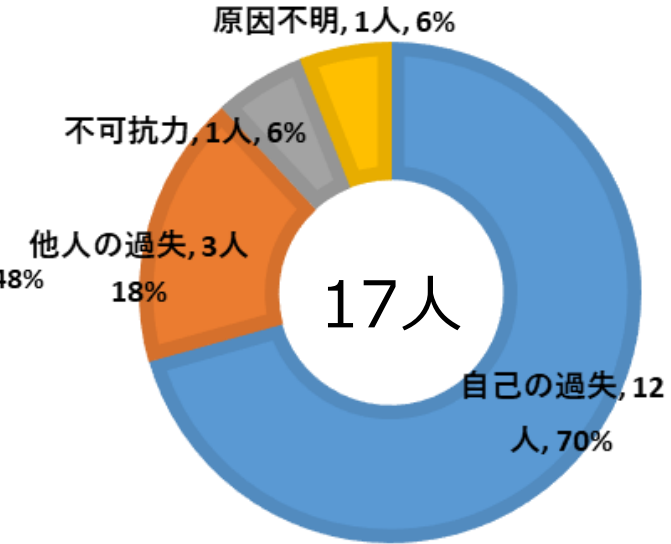
単位：人



事故内容別 (R3)



負傷内訳別 (R3)



- ・発生人数は昨年より増加(約1.5倍)
- ・病気は、脳疾患、心疾患、熱中症等
- ・負傷は自己の過失が70%